

# ビタミンK微量・頻回投与による ビタミンK欠乏性出血症の予防

静岡赤十字病院小児科

池田 稲穂, 本多 正直,  
滝井 泰弘

## 方 法

ビタミンK<sub>1</sub> 未1mgを生後0~1日, 6~7日(産科退院時) 14日, 21日に投与し1ヶ月健診時にヘパラスチンテストを行いその予防効果を見た。

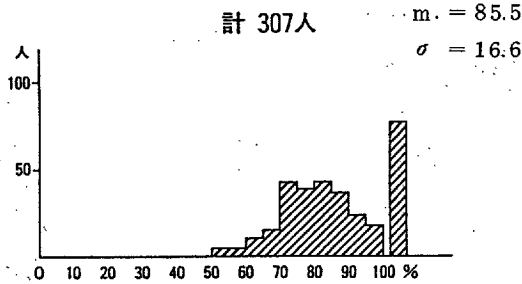
## 結 果

1ヶ月健診時のヘパラスチンテスト値は母乳群と人工栄養・混合栄養群とで差を認めなかった。

ビタミンK<sub>1</sub> 未予防投与を始める昭和57年12月迄の母乳群と投与開始後の母乳群ではヘパラスチン値の平均値で有意の差を認めた。26%以下の所滑ニアミス別の出現率については統計上有意の差は見られなかったが投与開始前5例, 以後1例認められた。ビタミンK<sub>2</sub> シロップにこだわらずK<sub>1</sub> 未でも予防効果が得られると思われる。

## S.60. 1ヶ月健診時 Hp. test

### ① 母乳群



### ② 人工+混合群

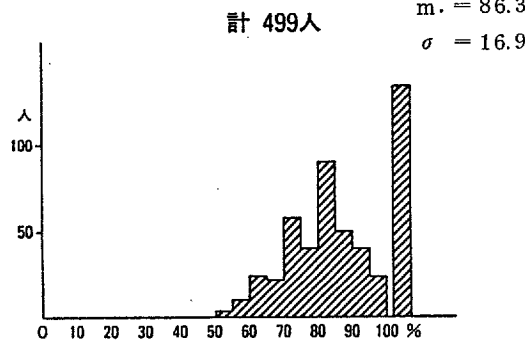


図 1.

1ヶ月健診時 Hp. test

母乳群

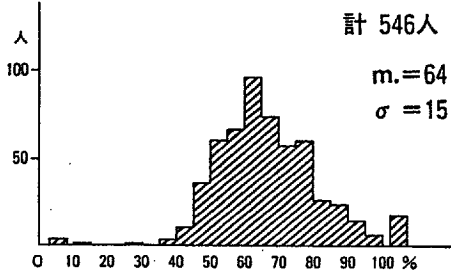
① S.55.3.-57.12.

Vit. K (-)

計 546人

m.=64.1

$\sigma = 15.5$



1ヶ月健診時 Hp. test

人工+混合群

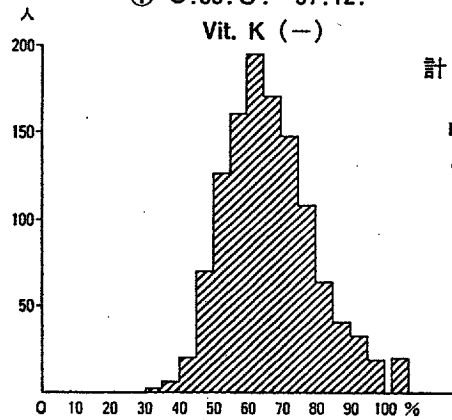
① S.55.3.-57.12.

Vit. K (-)

計 1175人

m.=64.3

$\sigma = 13.5$



② S.58.1.-60.12.

Vit. K (+)

計 636人

m.=80.5

$\sigma = 16.0$

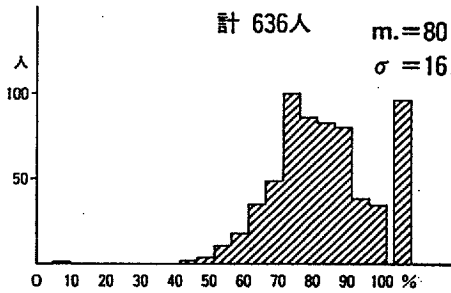


図 2.

② S.58.1.-60.12.

Vit. K (+)

計 1388人

m.=80.1

$\sigma = 16.3$

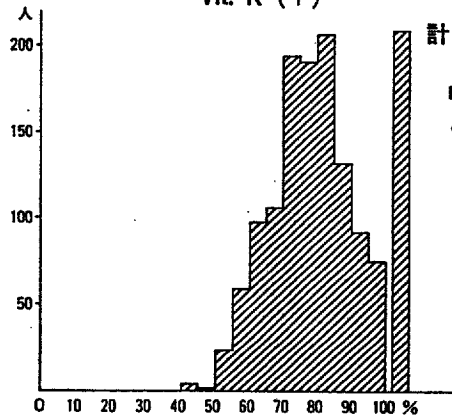


図 3.

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

ビタミン K 微量・頻回投与によるビタミン K 欠乏性出血症の予防